

Ⅱ 入学者の募集人員

学部	課程・学科・コース 教育プログラム(EP) (EP: Education Program)	入学 定員	一般入試		アドミッション ・オフィス入試 (AO入試)	推薦入試		帰国生徒 入 試	外国学校 出身者 入 試	社 会 人 入 試	私費外国人留学生入試			YCCS 特 別 プログラム
			前期日程	後期日程		地域枠	全国枠				YGEP -N1 (渡日入試)	YGEP -N1 (渡日前入試)	YGEP -N2 (渡日前入試)	
教 育 学 部	学校教育課程													
	人間形成コース	210	118	—	30	12	10	若干名 (前期日程 内 数)	—	—	—	—	—	—
	教科教育コース			—			40		—	—	—	—	—	
	特別支援教育コース	20	16	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	
	小 計	230	134	—	30	66	若干名	—	—	—	—	—	—	
・AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。														
経 済 学 部	経済学科	238	125	90	15	—	—	若干名 (前期日程 内 数)	—	—	8	—	—	—
・AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) は、通常6名、GBEEP2名														
経 営 学 部	経営学科	287	128	98	15	34	若干名 (前期日程 内 数)	—	—	4	8	—	—	—
・AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。 ・社会人入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) は、通常6名、GBEEP2名														
理 工 学 部	機械・材料・海洋系学科	185												
	機械工学 EP		56	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材料工学 EP		18	16	8	—	—	—	—	—	—	—	—	
	海洋空間のシステムデザイン EP		17	8	10	—	—	—	—	—	—	—	—	
	化学・生命系学科	187												
	化学 EP・化学応用 EP		75	60	—	22	—	—	—	—	—	—	—	
	バイオ EP	15	10	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	
	数物・電子情報系学科	287												
	数理科学 EP		20	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	物理工学 EP		60	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
電子情報システム EP	63		50	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
情報工学 EP	30	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
小 計	659	354	256	18	25	0	0	0	0	6	0	0		
・AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試、渡日前入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。														
都 市 科 学 部	都市社会共生学科	74	30	20	10	—	—	—	—	—	2	—	—	12
	建築学科	70	41	20	7	—	—	—	—	—	2	—	—	
	都市基盤学科	48	18	12	10	—	—	—	—	—	3	—	5	
	環境リスク共生学科	56	30	10	10	—	—	—	—	—	3	—	3	
	小 計	248	119	62	37	0	0	0	0	0	10	—	8	12
・AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試、渡日前入試) 及びN2 (渡日前入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。														
合 計		1,662	860	506	115	125	若干名	若干名	4	32	8	12		

GBEEP : 正式名称はGlobal Business and Economics 教育プログラム。経済学部と経営学部が共同で実施する教育プログラムで、次のような特徴があります。①経済学と経営学の2つの学問領域を学修する。②英語による授業や海外学修の履修が課される。③卒業に必要な単位数は132単位以上で、通常のプログラム(124単位)よりも多い。なお、同プログラムを履修可能な入試は経済学部(AO入試、外国学校出身者入試、YGEP-N1)、経営学部(AO入試、帰国生徒入試、YGEP-N1)です。

YGEP-N1 : 正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日して日本語を学んできた外国人、又は来日前にある程度日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N1相当の者を対象とした入試です。日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後は日本人学生と一緒に通常カリキュラムを履修します。

YGEP-N2 : 正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日前に多少日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N2相当の者を対象とした渡日前入試です。ただし、日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後、1年次では日本語と日本事情を重点的に履修、2年次以降で日本人と一緒に専門分野を学習します。

IV AO入試

(1) 教育学部

<p>実施学部等 課程名等</p>	<p>教育学部 学校教育課程 (人間形成コース・教科教育コース)</p>																															
<p>募集人員</p>	<p>30名</p>																															
<p>出願要件</p>	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 小学校教員になろうとする強い意欲を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p>																															
<p>選抜方法</p>	<p>【第1次選抜】 自己推薦書、調査書、課題レポートの評価と併せて、小論文試験を課して、それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。小論文試験は、小学校の授業風景を撮影したビデオを視聴の上、与えられた課題の論述を行います。 (自己推薦書、課題レポートの内容は次のページを参照してください。)</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。個人面接では、その場で与えた課題に対するプレゼンテーション(パフォーマンスも可)を行います。また、これまでの体験的活動や課題レポート等について説明していただき、教育の今日的課題等の質問を行います。 小学校教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価し、第2次選抜合格者を決定します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対して、平成31年度大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験合計点(900点満点)が570点以上の場合に最終合格者とします。</p> <p>(1) 大学入試センター試験の教科・科目</p> <table border="1" data-bbox="347 1422 1465 1865"> <tr> <td>国語「国語」</td> <td rowspan="4">} から1又は2</td> <td rowspan="4">} 地理歴史・公民から2科目の場合、理科はa又はb</td> </tr> <tr> <td>地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民「倫理、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>理科①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2</td> </tr> <tr> <td>②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> <td rowspan="3">} a～dのいずれか</td> <td rowspan="3">} 地理歴史・公民から1科目の場合、理科はc又はd</td> </tr> <tr> <td>③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> </tr> <tr> <td>④「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2</td> </tr> <tr> <td>数学「数学I・数学A」と「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>地理歴史・公民から1科目の場合：5教科7科目又は5教科8科目 地理歴史・公民から2科目の場合：5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目</p> <p>(2) 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1" data-bbox="347 1937 1197 2045"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200(100)</td> <td>200</td> <td>100(200)</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次ページに続く)</p>	国語「国語」	} から1又は2	} 地理歴史・公民から2科目の場合、理科はa又はb	地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民「倫理、政治・経済」	理科①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2	②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	} a～dのいずれか	} 地理歴史・公民から1科目の場合、理科はc又はd	③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	④「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	数学「数学I・数学A」と「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1			外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1			教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	200(100)	200	100(200)	200	900
国語「国語」	} から1又は2	} 地理歴史・公民から2科目の場合、理科はa又はb																														
地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																																
公民「倫理、政治・経済」																																
理科①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2																																
②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	} a～dのいずれか	} 地理歴史・公民から1科目の場合、理科はc又はd																														
③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1																																
④「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2																																
数学「数学I・数学A」と「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1																																
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																																
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	配点合計																										
配点	200	200(100)	200	100(200)	200	900																										

	<p>注1：「理科」で◎を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めます。</p> <p>注2：「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で◎を選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。</p> <p>注3：「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で◎を選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。</p> <p>注4：「地理歴史」・「公民」及び「理科」の配点について「地理歴史」・「公民」の得点が採用された科目が1科目の場合は（ ）内の配点で計算します。</p> <p>注5：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報、情報の科学等）を履修した者は該当しません。</p> <p>注6：外国語として英語を選択した者は、リスニングテストも受験してください。筆記試験 200 点満点とリスニングテスト 50 点満点の合計 250 点満点を 200 点満点に換算します。</p>
出願期間	平成30年 9月 7日（金）～平成30年 9月13日（木）【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日：平成30年 9月28日（金） 第2次選抜期日：平成30年10月20日（土）
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年10月 5日（金） 第2次選抜合格者発表：平成30年11月 5日（月） 最終合格者発表：平成31年 2月12日（火）
その他	<p>学校教育課程における修学上の留意事項について 詳細は本学ホームページ [http://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/vaccination/]をご確認ください。</p> <p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2 横浜国立大学教育学系入試係 TEL. 045-339-3261</p>

自己推薦書、課題レポートの内容	
自己推薦書	<p>本学部所定の用紙を用いて、以下の点に留意し、志願者本人が1,000字以内で自己PRを書いてください。</p> <p>① 学校教育課程人間形成コース・教科教育コースを、AO入試で志望する理由 ② 小学校教員になることに対する熱意や適性 ③ 入学後の学修計画（単なる履修計画ではなく、自主的な学修計画（例えば、ボランティア、アシスタントティーチャー、学外活動等））</p> <p>これまでの生活の中で小学校の児童又は中学校の生徒とふれあう体験的活動等の経験があれば、「自己推薦書補足資料」用紙にその内容を記述し、それを示す資料があればA4判のコピーを添付してください。</p>
課題レポート	<p>本学部所定の用紙を用いて、あなたが小学校教員になって児童に教えてみたいことを、以下の4点を必ず含めて、2,000字以内で書いてください。</p> <p>① どの学年のどのような指導内容をとり上げるのか。 ② その指導内容をとり上げた理由は何か。 ③ その指導内容を児童がどのように受け止めると予想しているか。 ④ 児童の受け止め方に対して、どのような対応が考えられるか。</p>

入学者選抜方法は、前ページを参照してください。

(2) 経済学部

※このAO入試は、経済学を中心にしてGBEEP（5ページ参照）での学修を希望する方ための入試です。

実施学部 学 科 名	経済学部 経済学科										
募 集 人 員	15名										
出 願 要 件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 以下の1～3のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学することを確約できる者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、本プログラムが指定する教科・科目を受験する者 3. 以下の外部英語試験のうちいずれか1つ以上を受験し出願期間内に成績証明書等を提出できる者 <p>ただし、実用英語技能検定については、入試を実施する年度の2年前の4月1日以降に（平成31年度入試については、平成28年4月1日以降に）受験した試験のスコアのみを受け付ける。TOEFL、TOEIC、IELTSについては、出願開始日から遡って2年以内に受験した試験のスコアのみを受け付ける。なお、TOEFLのスコアは本学に直送されたもののみを受け付ける。他の外部英語試験のスコアは原本のみを受け付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定（英検） ・TOEFL(iBT、PBT) ・TOEIC L&R ・IELTS(Academic Module) 										
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行う。</p> <p>【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類（英語スコア）により選抜を行う。</p> <p>【第1次選抜の免除】 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本を提出した者は、第1次選抜を免除する。</p> <p>【第1次選抜免除試験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本数学オリンピック予選 Aランク者又は予選免除者 ・実用数学技能検定（数学検定）1級合格者 ・日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級合格者 ・全国経理教育協会簿記能力検定試験（全経簿記）上級合格者 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。</p> <p>【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入試センター試験成績により選抜を行う。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(1) 大学入試センター試験の教科・科目</p> <table border="1" data-bbox="357 1570 1458 1637"> <tr> <td>数 学「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、 簿記・会計、「情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1</td> </tr> </table> <p>注1：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。</p> <p>注2：「英語」についてはリスニングテストを含みます。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。） 英語を受験した場合の配点は、筆記試験 200点満点とリスニングテスト 50点満点の合計 250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。 200点満点（筆記試験 200点＋リスニングテスト 50点）×0.8</p> <p>(2) 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1" data-bbox="411 1989 930 2051"> <tr> <td>教科名</td> <td>数学</td> <td>外国語</td> <td>配点合計</td> </tr> <tr> <td>配 点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>400</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>	数 学「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、 簿記・会計、「情報関係基礎」から1	外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1	教科名	数学	外国語	配点合計	配 点	200	200	400
数 学「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、 簿記・会計、「情報関係基礎」から1											
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1											
教科名	数学	外国語	配点合計								
配 点	200	200	400								

出願期間	平成30年10月11日(木)～平成30年10月17日(水)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日：書類選抜 第2次選抜期日：平成30年12月17日(月)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年11月16日(金) 第2次選抜合格者発表：平成31年1月11日(金) 最終合格者発表：平成31年2月12日(火)
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3 横浜国立大学社会科学系経済学務係 TEL. 045-339-3508, 3509

(3) 経営学部

※このAO入試は、経営学を中心にしてGBEEP（5ページ参照）での学修を希望する方ための入試です。

実施学部 学 科 名	経営学部 経営学科										
募 集 人 員	15名										
出 願 要 件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 以下の1～3のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学することを確約できる者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、本プログラムが指定する教科・科目を受験する者 3. 以下の外部英語試験のうちいずれか1つ以上を受験し出願期間内に成績証明書等を提出できる者 <p>ただし、実用英語技能検定については、入試を実施する年度の2年前の4月1日以降に（平成31年度入試については、平成28年4月1日以降に）受験した試験のスコアのみを受け付ける。TOEFL、TOEIC、IELTSについては、出願開始日から遡って2年以内を受験した試験のスコアのみを受け付ける。なお、TOEFLのスコアは本学に直送されたもののみを受け付ける。他の外部英語試験のスコアは原本のみを受け付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定（英検） ・TOEFL(iBT、PBT) ・TOEIC L&R ・IELTS(Academic Module) 										
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行う。</p> <p>【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類（英語スコア）により選抜を行う。</p> <p>【第1次選抜の免除】 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本を提出した者は、第1次選抜を免除する。</p> <p>【第1次選抜免除試験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本数学オリンピック予選 Aランク者又は予選免除者 ・実用数学技能検定（数学検定）1級合格者 ・日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級合格者 ・全国経理教育協会簿記能力検定試験（全経簿記）上級合格者 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。</p> <p>【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入試センター試験成績により選抜を行う。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(1) 大学入試センター試験の教科・科目</p> <table border="1" data-bbox="357 1570 1461 1637"> <tr> <td>数 学「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、 簿記・会計、「情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1</td> </tr> </table> <p>注1：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。</p> <p>注2：「英語」についてはリスニングテストを含みます。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。） 英語を受験した場合の配点は、筆記試験 200点満点とリスニングテスト 50点満点の合計 250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。 200点満点（筆記試験 200点＋リスニングテスト 50点）×0.8</p> <p>(2) 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1" data-bbox="411 1989 932 2051"> <tr> <td>教科名</td> <td>数学</td> <td>外国語</td> <td>配点合計</td> </tr> <tr> <td>配 点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>400</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>	数 学「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、 簿記・会計、「情報関係基礎」から1	外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1	教科名	数学	外国語	配点合計	配 点	200	200	400
数 学「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、 簿記・会計、「情報関係基礎」から1											
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1											
教科名	数学	外国語	配点合計								
配 点	200	200	400								

出願期間	平成30年10月11日(木)～平成30年10月17日(水)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日：書類選抜 第2次選抜期日：平成30年12月17日(月)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年11月16日(金) 第2次選抜合格者発表：平成31年1月11日(金) 最終合格者発表：平成31年2月12日(火)
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学社会科学系経営学務係 TEL. 045-339-3663, 3664

(4) 理工学部

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 材料工学教育プログラム										
募集人員	8名										
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの 【要件】 次の1及び2に該当する者 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 平成31年度大学入試センター試験において学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者										
選抜方法	【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、材料工学教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。 1. 自己推薦書(本学様式) 材料工学教育プログラムに対する熱意を600字程度で、当プログラムを学んだ後の将来の夢を600字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。また、自己推薦書を裏付ける実績を証明する資料の写し(ポスター・造形物は写真)を添付しても構いません。 2. 調査書等 材料工学教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験(口頭試問による学力検査(数学・物理及びそれらに関する総合的な能力の検査))を課します。 【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学センター試験の教科・科目を課し、大学入試センター試験の結果により、最終的な合格者を決定します。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。 (1) 大学入試センター試験の教科・科目〔3教科・5科目〕 数学「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。 理科「物理」、「化学」 外国語「英語」 ※英語については「リスニングテスト」を含みます。 英語の配点は、筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。 $200\text{点満点}(\text{筆記試験}200\text{点}+\text{リスニングテスト}50\text{点})\times 0.8$ (2) 大学入試センター試験の配点 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	教科名	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	200	200	600
教科名	数学	理科	外国語	配点合計							
配点	200	200	200	600							
出願期間	平成30年 9月21日(金)～平成30年 9月27日(木)【郵送、必着】										
選抜期日	第1次選抜期日：書類選抜 第2次選抜期日：平成30年11月24日(土)										
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年10月16日(火) 第2次選抜合格者発表：平成30年12月11日(火) 最終合格者発表：平成31年 2月13日(水)										
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学理工学部入試係 TEL. 045-339-3821										

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム										
募集人員	10名										
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 平成31年度大学入試センター試験において学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者 										
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書（本学様式） 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。 2. 調査書等 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験（口頭試問による学力検査（数学・物理及びそれらに関する総合的な能力の検査））を課します。 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムのホームページに、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。（本学ホームページ http://www.shp.ynu.ac.jp/files/A0_Info.pdf）</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学センター試験の教科・科目を課し、大学入試センター試験の結果により、最終的な合格者を決定します。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(1) 大学入試センター試験の教科・科目〔3教科・4科目〕</p> <p>国語「国語」 数学「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。 なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しません。</p> <p>外国語「英語」 ※英語については「リスニングテスト」を含みます。 英語の配点は、筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。 $200\text{点満点}(\text{筆記試験 } 200\text{点} + \text{リスニングテスト } 50\text{点}) \times 0.8$</p> <p>(2) 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	教科名	国語	数学	外国語	配点合計	配点	200	200	200	600
教科名	国語	数学	外国語	配点合計							
配点	200	200	200	600							
出願期間	平成30年 9月21日（金）～平成30年 9月27日（木）【郵送、必着】										
選抜期日	第1次選抜期日：書類選抜 第2次選抜期日：平成30年11月24日（土）										
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年10月16日（火） 第2次選抜合格者発表：平成30年12月11日（火） 最終合格者発表：平成31年 2月13日（水）										
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学理工学部入試係 TEL. 045-339-3821										

(5) 都市科学部

実施学部 学 科 名	都市科学部 都市社会共生学科																			
募集人員	10名																			
出 願 要 件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの 【要件】 次の1及び2に該当する者 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 平成31年度大学入試センター試験において学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者																			
選 抜 方 法	【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。 1. 自己推薦書及び学習計画書(各1,000字程度) ・自己推薦書:都市社会共生学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文書・図は手書きが条件です。 ・学習計画書:以下の点について、1,000字程度で記述してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文書・図は手書きが条件です。 ①都市・社会・文化の領域で特に関心を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか 2. 調査書等:都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して口頭試問による選抜を行う。主に志望動機・入学後の学習計画等に関する質疑を行うとともに、思考力・表現力を考査する文章実技を実施する。 注:文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行う。 【最終合格者決定】 (1)第2次選抜合格者に対し、以下の大学入試センター試験教科・科目を課し、大学入試センター試験の結果により、最終的な合格者を決定する。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">国 語「国語」</td> <td rowspan="4" style="width:10%; text-align: center;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公 民「倫理、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>数 学「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」</td> </tr> <tr> <td>外 国 語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」</td> <td style="text-align: center;">} から1</td> </tr> </table> 注1:「地理歴史・公民」又は「数学」のどちらか1教科選択です。 注2:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。 注3:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。) 注4:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 (2)大学入試センター試験の配点 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配 点</td> <td>200</td> <td>*200</td> <td>*200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 注1:配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。 注2:「地理歴史・公民」及び「数学」を受験した者については、「地理歴史・公民」の第1解答科目及び「数学」のうち最も得点の高い科目の得点を2倍にして合否判定に用います。 注3:「英語」の配点は、筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。 $200\text{点満点} = (\text{筆記試験} 200\text{点} + \text{リスニングテスト} 50\text{点}) \times 0.8$	国 語「国語」	} から1	地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公 民「倫理、政治・経済」	数 学「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	外 国 語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	} から1	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	外国語	配点合計	配 点	200	*200	*200	200	600
国 語「国語」	} から1																			
地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																				
公 民「倫理、政治・経済」																				
数 学「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」																				
外 国 語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	} から1																			
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	外国語	配点合計															
配 点	200	*200	*200	200	600															
出 願 期 間	平成30年 9月21日(金)～平成30年 9月27日(木)【郵送、必着】																			
選 抜 期 日	第1次選抜期日:書類選抜 第2次選抜期日:平成30年11月17日(土)																			
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:平成30年11月 7日(水) 第2次選抜合格者発表:平成30年12月 5日(水) 最終合格者発表:平成31年 2月13日(水)																			
そ の 他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL.045-339-3124、4463																			

実施学 部 科 名	都市科学部 建築学科
募集人員	7名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて（旧教育課程履修は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて）を履修した者及び履修見込みの者（注1・注2） <p>注1：高等学校若しくは中等教育学校等を平成31年3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書（本学様式）を添付すること。</p> <p>注2：上記に指定する名称以外の科目で履修した者及び履修見込みの者は事前確認を行うこと（詳細は募集要項を確認してください。）</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査及び実技試験とします。 以下により、建築学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書（本学様式） 建築学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 2. 調査書等 建築学科への適性を判断するために使用します。 3. 実技試験 自己推薦書による適性及び能力を判断するために実技試験（造形に関する思考力・表現力の検査）を課します。 建築学科のホームページに、出題例を公開していますので、参考にしてください。 （本学ホームページ http://www.arc-ynu.jp/english/admission/ao/） <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験（口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査）を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>
出願期間	平成30年 9月21日（金）～平成30年 9月27日（木）【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日：平成30年10月27日（土） 第2次選抜期日：平成30年11月17日（土）
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年11月 7日（水） 最終合格者発表：平成30年12月 5日（水）
その他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL.045-339-3124、4463</p>

実施学部 学科名	都市科学部 都市基盤学科
募集人員	10名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて（旧教育課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて）を履修した者及び履修見込みの者（注1・注2） <p>注1：高等学校若しくは中等教育学校等を平成31年3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書（本学所定の履修見込証明書）を添付すること。</p> <p>注2：上記に指定する名称以外の科目で履修した者及び履修見込の者は事前確認を行うこと。（詳細は募集要項を確認してください）</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、都市基盤学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書（本学様式） 都市基盤学科に対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください。図を入れても結構ですが字数には含みません。文書・図は手書きが条件です。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都市基盤学科を志望する理由（自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください）：400字程度 (2) 都市基盤学科を卒業した後の自分の姿：200字程度 (3) 自分の特徴（良い点、悪い点）：200字程度 (4) いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど：200字程度 2. 調査書等 都市基盤学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、記述式の評価シートを参考にした口頭試問による学力・適性検査を課します。評価シートは、口頭試問に先立って記述し、自己プロフィール、数学、物理に関連する基本的な設問に対して解答するものです。 口頭試問では主に、志望動機等に関する質疑、数学・物理及びそれらに関連する総合的な能力の検査、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行います。 ここで数学とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの全範囲、物理とは、物理基礎、物理の全範囲を含みます。 学力・適性検査の詳細は、第1次選抜の合格通知に同封します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>
出願期間	平成30年 9月21日（金）～平成30年 9月27日（木）【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日：書類選抜 第2次選抜期日：平成30年11月17日（土）
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年11月 7日（水） 最終合格者発表：平成30年12月 5日（水）
その他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL.045-339-3124、4463</p>

実施学 部 学 科 名	都市科学部 環境リスク共生学科																												
募集人員	10名																												
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成31年3月31日までに18歳に達するもの 【要件】 次の1及び2に該当する者 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 平成31年度大学入試センター試験において学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者																												
選抜方法	【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。 1. 自己推薦書 環境リスク共生学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 2. 調査書等 環境リスク共生学科への適性を判断するために使用します。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、適性及び能力を判断するために、実際の研究材料や資料、データなどを調べ、結果をまとめて発表する実習（環境学への興味とセンス、思考力、発想力、表現力の検査）を課します。 【最終合格者決定】 (1) 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入試センター試験教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により、最終的な合格者を決定します。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="4" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">} から 1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」、「化学」、「生物」、「地学」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">} から 1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」</td> </tr> </table> 注1：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しません。 注2：「英語」についてはリスニングテストを含みます。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。） 注3：「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 (2) 大学入試センター試験の配点 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>250</td> <td>450</td> <td>350</td> <td>300</td> <td>1,550</td> </tr> </tbody> </table> 注1：地理歴史・公民 250点満点（100点×2.5） 注2：数学 450点満点（200点×2.25） 注3：理科 350点満点（200点×1.75） 注4：外国語 英語300点満点（筆記試験200点＋リスニングテスト50点）×0.8×1.5 英語以外の外国語（200点×1.5）	国語	「国語」	} から 1	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	数学	「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	} から 1	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	250	450	350	300	1,550
国語	「国語」	} から 1																											
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																												
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」																												
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」																												
数学	「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	} から 1																											
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」																												
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	配点合計																							
配点	200	250	450	350	300	1,550																							
出願期間	平成30年 9月21日（金）～平成30年 9月27日（木）【郵送、必着】																												
選抜期日	第1次選抜期日：書類選抜 第2次選抜期日：平成30年11月17日（土）																												
合格者発表日	第1次選抜合格者発表：平成30年11月 7日（水） 第2次選抜合格者発表：平成30年12月 5日（水） 最終合格者発表：平成31年 2月13日（水）																												
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL.045-339-3124、4463																												

V 特別選抜

1. 推薦入試（国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。）

(1) 教育学部

実施学部 課程名	教育学部 学校教育課程				
募集人員	66名 (内訳)				
	地域枠		全国枠		
	人間形成コース 教科教育コース 特別支援教育コース	12名	人間形成コース	教育基礎の専門領域	4名
				心理発達の専門領域	4名
				日本語教育の専門領域	2名
			教科教育コース	国語の専門領域	4名
				社会の専門領域	4名
				数学の専門領域	4名
				理科の専門領域	4名
				音楽の専門領域	4名
美術の専門領域				4名	
保健体育の専門領域	4名				
技術の専門領域	4名				
家庭科の専門領域	4名				
英語の専門領域	4名				
		特別支援教育コース		4名	
地域枠合計		12名	全国枠合計		54名
<p>(注1) 全国枠・地域枠いずれも、1校当たりの被推薦者数に制限はありません。</p> <p>(注2) 全国枠で出願できるコース・専門領域は1つに限ります。</p> <p>(注3) 神奈川県在住者は、全国枠と地域枠の併願が可能です。併願する場合は、それぞれについての入学検定料が必要になります。</p> <p>(注4) 全国枠と地域枠を併願し、全国枠で合格した者は地域枠については合否対象から除外します。</p> <p>(注5) 全国枠合格者で入学した者は入学後にコース・専門領域を変更できません。地域枠合格者で入学した者は入学後第1学年の10月頃までにコース・専門領域を決定(※)します。</p> <p>(※) この決定は、全国枠の併願の有無や全国枠で出願したコース・専門領域に関わらず、本人の希望及び入学後の学習状況を基に行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には選考試験を行います。</p> <p>(注6) 合格者数が募集人員を下回ることもあります。</p>					
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、学校長の推薦を受けた者</p> <p>(1) 平成30年4月から平成31年3月までに高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 平成30年4月から平成31年3月までに高等専門学校3年次修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>【要件】 次の(1)～(4)を全て満たす者</p> <p>(1) 児童・生徒の育成に熱意を持ち、小・中・特別支援学校等の教員になる強い意欲を持つ者</p> <p>(2) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>(3) 学校長が、次のア及びイについて人物及び能力等に責任を持って推薦できる者</p> <p>ア. 学習成績が優秀で教員となる強い意欲及びそれにふさわしい資質を持つ者として認めることができる者</p> <p>イ. 児童・生徒の育成に熱意を持って当てることができると認められる者</p> <p>(4) 合格した場合には、本学に入学することを確約できる者</p> <p>地域枠に出願する場合は、【要件】(1)～(4)を全て満たし、かつ、次の(5)及び(6)を満たす者</p> <p>(5) 志願者及びその父母又はこれに準ずる者が出願時に神奈川県に在住する者 注：世帯主の氏名と志願者の氏名及び続柄の記載されている住民票の写し(原本)を必ず添付してください。</p> <p>(6) 神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市の学校教育に関して、強い興味・関心を持つ者</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>				

	<p>全国卒に出願する場合は、【要件】(1)～(4)を全て満たし、かつ、学校長が「出願するコース・専門領域に強い興味・関心を持ち、十分な能力を有する者であること」を、責任を持って推薦できる者 美術、保健体育、家庭科、英語の専門領域の志願者にあつては、以下の要件も満たすこと。</p> <p>(7) 美術の専門領域の志願者にあつては、本人が高等学校等在学中に行つた美術活動に関するファイル1冊及び、本学所定の活動証明書によりその成果を証明できるものを提出できる者</p> <p>(8) 保健体育の専門領域の志願者にあつては、都道府県大会・競技会で8位以内か、地区大会(都道府県より上位の大会を指す。例：関東地区大会、南関東地区大会 など)、全国大会、国際大会に出場した者。この場合、それに該当することを証明する資料のコピーを添付すること。団体競技の場合は、志願者が競技に参加したことが証明できるものを添付すること。</p> <p>(9) 家庭科の専門領域の志願者にあつては、自分の現在の生活を振り返り、家族・家庭や衣食住に関する課題を設定しレポートにまとめて提出できる者。なお、レポートには課題設定の理由・課題解決の方法・結果・考察を含む(A4用紙使用、字数制限なし)。</p> <p>(10) 英語の専門領域の志願者にあつては、出願時から2年以内の外部試験のスコア証明書原本(英検、TOEFL(iBT、ITP(団体向けテストプログラム))、TOEIC(公開テスト、IP(団体特別受験制度))、IELTS(Academic Module)、GTEC、旧GTEC for STUDENTS、旧GTEC CBTのいずれか1つ)を提出できる者。また、英語に関する学内外での活動(海外研修・英語ディベート入賞など)経験がある場合はその証明書(様式任意、学校長の押印が必要)を提出すること。※スコア証明書原本は面接終了後に返却する。</p>
選 抜 方 法	<p>1. 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査等を免除し、小論文及び個人面接による試験、推薦書、調査書、志願理由書、自己推薦書、音楽の専門領域を志願する者のみ聴音(2声の書き取り(大譜表、8小節程度))の実技試験、これらを総合的に評価します。</p> <p>2. 小論文及び面接の内容については、40ページを参照してください。</p>
出 願 期 間	平成30年11月 1日(木)～平成30年11月 7日(水)【郵送、必着】
選 抜 期 日	地域卒：平成30年11月24日(土) 全国卒：平成30年11月25日(日)
合 格 者 発 表 日	平成30年12月 3日(月)
そ の 他	<p>学校教育課程における修学上の留意事項について 詳細は本学ホームページ [http://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/vaccination/]をご確認ください。</p> <p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 横浜国立大学教育学系入試係 TEL. 045-339-3261</p>

(2) 経営学部

実施学部 学 科 名	経営学部 経営学科
募 集 人 員	34名
出 願 要 件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 出身学校長の推薦を受けた者で、平成30年4月から平成31年3月までに高等学校（特別支援学校の高等部及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を含む。）若しくは中等教育学校を卒業（修了）または卒業（修了）見込みの者</p> <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本学部において、大学教育を修めたい希望と学業に対する熱意を持ち、出身学校における学習成績概評がA段階（調査書の全体の評定平均値が4.3以上）に属し、出身学校長が責任をもって人物・学力ともに優れていると認め推薦できる者2. 合格した場合には入学の確約ができる者 <p>（注）推薦人員について 1校2名まで推薦できます。 ただし、教育課程が違う場合（全日制、定時制等）は、同一の学校（学校長）でも別の学校と見なします。</p>
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、小論文、面接による試験と志望理由書、出身学校長が作成した調査書を総合して行います。なお、大学入試センター試験を免除します。 小論文及び面接の内容については、40ページを参照してください。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出 願 期 間	平成30年11月 1日（木）～ 平成30年11月 8日（木）【郵送、必着】
選 抜 期 日	平成30年12月 3日（月）
合 格 者 発 表 日	平成30年12月14日（金）
そ の 他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学社会科学系経営学務係 TEL. 045-339-3663, 3364</p>

(3) 理工学部

実施学部 学科名	理工学部 化学・生命系学科														
募集人員	化学教育プログラム・化学応用教育プログラム 22名 バイオ教育プログラム 3名														
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 出身学校長の推薦を受け、かつ、平成31年度大学入試センター試験において指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次の1または2に該当する者 1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業（修了）または卒業（修了）見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了または修了見込みの者 【要件】 次の1から4のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の平均値が4.0以上の者 3. 出身学校において理科を2科目以上履修した者 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 ※「理科」とは、「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「地学基礎」、「地学」を指します。														
選抜方法	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。面接の内容については、40ページを参照してください。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。 1. 大学入試センター試験の教科・科目〔5教科7科目〕 国語「国語」 地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 公民「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1（注1） 数学「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 （注2） 理科「物理」、「化学」、「生物」から2 外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 （注3） （注1）「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 （注2）「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しません。 （注3）「英語」についてはリスニングテストを含みます。 英語の配点は、筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。 $200\text{点満点} = (\text{筆記試験 } 200\text{点} + \text{リスニングテスト } 50\text{点}) \times 0.8$ 2. 大学入試センター試験の配点 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	100	200	200	200	900
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	配点合計									
配点	200	100	200	200	200	900									
出願期間	平成31年 1月21日（月）～平成31年 1月25日（金）【郵送、必着】														
選抜期日	平成31年 2月 7日（木）														
合格者発表日	平成31年 2月13日（水）														
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学理工学部入試係 TEL. 045-339-3821														

2. 帰国生徒入試、外国学校出身者入試

(1) 教育学部 帰国生徒入試

実施学部 課程名	教育学部 学校教育課程
募集人員	若干名 ※ 志願者は、「人間形成コース・教科教育コース」又は「特別支援教育コース」のどちらか一方を選択することになります。 「人間形成コース・教科教育コース」に入学した者については、第1学年の10月頃までにコース及び専門領域を決定します。
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を平成29年(2017年)4月1日から平成31年(2019年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>(2) 外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、平成30年(2018年)4月から、平成31年(2019年)3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>①外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>②外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>(3) 外国において次の㉑～㉔のいずれかを平成29年(2017年)又は平成30年(2018年)に授与され、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>㉑スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>㉒ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>㉓フランス共和国において大学入学資格として認められている普通バカロレア資格</p> <p>㉔グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)</p> <p>[3科目以上合格(評価E以上)していること]</p> <p>(4) 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成29年(2017年)4月1日から平成31年(2019年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みであり、平成31年3月31日までに18歳に達するもので、最終学年を含め学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>注1:「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(出願要件(3)又は(4)を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>注2:外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>注3:本学他学部の帰国生徒入試(外国学校出身者入試を含む)との併願は認めません。</p> <p>注4:志願者本人の事由により、保護者の帯同なしに2年以上海外に滞在する者は出願を認めません。</p>
選抜方法	<p>1. 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文及び面接による試験、学業成績証明書、志願理由書及び自己推薦書の内容を総合して行います。</p> <p>2. 小論文及び面接の内容については、40ページを参照してください。</p>
出願期間	平成30年(2018年)11月1日(木)～平成30年(2018年)11月7日(水)【郵送、必着】
選抜期日	平成30年(2018年)11月24日(土)
合格者発表日	平成30年(2018年)12月3日(月)
その他	<p>学校教育課程における修学上の留意事項について 詳細は本学ホームページ〔http://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/vaccination/〕をご確認ください。</p> <p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 なお、入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて請求してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 横浜国立大学教育学系入試係 TEL.045-339-3261</p>

(2) 経済学部 外国学校出身者入試

実施学 課程 募集人員	経済学部 経済学科 若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 外国の学校教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程(※1)を平成29年(2017年)4月1日から、平成31年(2019年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 外国において次の資格のいずれかを平成29年(2017年)又は平成30年(2018年)に授与された者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格) [3科目以上合格(評価E以上)](※2) 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成29年(2017年)4月1日から平成31年(2019年)3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 【基礎資格1.】により出願する場合は、次の1及び2に該当する者 【基礎資格3.】により出願する場合は、次の2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること なお、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなしません。 2. 中等教育修了時に課される国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験を受験できる国の学校を修了あるいは修了見込みの者は、その試験を受験していること(当該試験が大学入学資格試験あるいは中等教育修了試験である場合には、その試験に合格していなければなりません。) 「国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験」についての詳細は次のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> ①アメリカ合衆国の教育制度によるもの 次の試験を全て受験している者(片方のみの受験では無効) ・SAT (Reasoning Test) Sat Essay の提出は不要 ・TOEFL (Test of English as a Foreign Language) iBT もしくは PBT ②イギリスの教育制度によるもの ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)[2科目合格(評価E以上)]を有する者(※2) ③それ以外の国の教育制度によるもの その国に統一試験が存在する場合には、その統一試験を受験している者 その国に統一試験が存在しないか、出願期間内に統一試験の結果を提出できない場合には、①又は②を受験すること <p>※1: 「外国において学校教育における12年の課程」とは、最終学校が地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(「【基礎資格】2」、「【基礎資格】3」のいずれかを満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。 ※2: ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)[2科目合格(評価E以上)]を有する者は、「【基礎資格】1」を有し、「【要件】1」を満たすことにより出願資格を有する。</p> <p>(注1) 本学他学部の帰国生徒入試との併願は認めません。 (注2) 出願時に希望する教育プログラム(通常又はGBEEP(5ページ参照))を選択することになります。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜の2段階で行います。 第1次選抜: 出願書類(統一試験等成績評価証明書、出身学校成績証明書)により選抜を行います。 第2次選抜: 第1次選抜合格者に対し、小論文及び面接を課して選抜を行います。 小論文及び面接の内容については、40ページを参照してください。</p>
出願期間	平成30年(2018年)9月7日(金)～平成30年(2018年)9月13日(木)【郵送、必着】
選抜期日	平成30年(2018年)11月19日(月) 出願書類による第1次選抜の結果は、平成30年(2018年)11月9日(金)付けで本人に通知します。
合格者発表日	平成30年(2018年)12月18日(火)
その他	<p>この入試に関する募集要項は、本学ホームページ等を通じて発表しています。 募集要項(出願書類を含む。)を以下のURLからダウンロードして出願してください。 http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html なお、入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて出願してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3 横浜国立大学社会科学系経済学務係 TEL. 045-339-3508, 3509 E-mail: int.keizai@ynu.ac.jp</p>

(3) 経営学部 帰国生徒入試

実施学部 課程名	経営学部 経営学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者（保護者が先に帰国した場合は、その後の滞在が1年未満であること。）</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を平成29年(2017年)4月1日から、平成31年(2019年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入学した者で、平成30年(2018年)4月から、平成31年(2019年)3月までに卒業又は卒業見込みの者 3. 外国において次の資格のいずれかを平成29年(2017年)又は平成30年(2018年)に授与された者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格) [3科目以上合格(評価E以上)していること] 4. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成29年(2017年)4月1日から、平成31年(2019年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <p>※「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(【基礎資格3.】又は【基礎資格4.】を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること</p> <p>【要件】 基礎資格に対応する次の要件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【基礎資格1.】又は【基礎資格4.】により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること 2. 【基礎資格2.】により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者 3. 【基礎資格3.】により出願する場合は、外国の教育制度に基づく学校において2年以上継続して学校教育を受けた者で、帰国後2年未満であること <p>※外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>(注1) 上記の基礎資格及び要件を備えた者でも、本学部帰国生徒入試への受験機会は1回とし、過去に受験した者の再受験は認めません。</p> <p>(注2) 本学他学部の帰国生徒入試(外国学校出身者入試を含む。)との併願は認めません。</p> <p>(注3) 出願時に希望する教育プログラム(通常又はGBEEP(5ページ参照))を選択することになります。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文及び面接による試験と志望理由書・成績証明書を総合して行います。小論文及び面接の内容については、40ページを参照してください。</p>
出願期間	平成30年(2018年)10月22日(月)～平成30年(2018年)10月29日(月)【郵送、必着】
選抜期日	平成30年(2018年)12月3日(月)
合格者発表日	平成30年(2018年)12月14日(金)
その他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項の資料請求方法は、51・52ページを参照してください。 なお、入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて請求してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学社会科学系経営学務係 TEL.045-339-3663,3664</p>

3. 社会人入試

実施学部 学科名	経営学部 経営学科 社会人教育プログラム
募集人員	4名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 大学入学資格を有している者（高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者は除く。）</p> <p>【要件】 次の1から3のすべてに該当する者</p> <p>1. 平成31年3月31日現在で、年齢が20歳に達し、現に就職し、入学後も就業を続ける意思がある者 (注) 就職には、アルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限ります。</p> <p>2. 平成28年11月以降に実施された TOEIC 又は TOEFL を受験した者で、次の①～③のいずれかに該当する者</p> <p>①TOEIC L&R の得点が443点以上 ②TOEFL PBT の得点が450点以上 ③TOEFL iBT の得点が45点以上</p> <p>(注) TOEIC-IP (団体特別受験制度) 及び TOEFL-ITP (団体向けテスト) による得点は認めません。</p> <p>3. 合格した場合は入学の確約のできる者</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文、面接、志望理由書、在職証明書、出身学校の調査書を総合して行います。</p> <p>なお、大学入試センター試験を免除します。</p> <p>小論文及び面接の内容については、40ページを参照してください。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	平成30年11月 1日(木)～平成30年11月 8日(木)【郵送、必着】
選抜期日	平成30年12月 3日(月)
合格者発表日	平成30年12月14日(金)
その他	<p>この入試に関する募集要項は、平成30年(2018年)9月上旬頃に本学ホームページ等を通じて発表します。募集要項(出願書類を含む。)を以下の URL からダウンロードして出願してください。</p> <p>http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html</p> <p>問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学社会科学系経営学務係 TEL. 045-339-3663, 3664</p>

4. 特別入試における小論文及び面接の内容

入試区分	実施学部	小論文	面接
推薦入試	教育学部	主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価します。	<p>教員になるための意欲と資質をみるため、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。なお、問題提起、問題把握、問題解決の能力をみるために、学校教育に関する資料や課題を与える場合もあります。</p> <p>全国卒の社会、美術、技術、家庭科の専門領域志願者は、以下の点にも注意してください。</p> <p>社会の専門領域志願者に対して、指定文献<小西雅子『地球温暖化は解決できるのか ーパリ協定から未来へ！』岩波ジュニア新書 2016年7月>に関する内容について質疑を追加して行います。</p> <p>美術の専門領域志願者に対して、出願時に提出した美術活動に関するファイルの内容について質疑を追加して行います。</p> <p>技術の専門領域志願者に対して、数学、理科に関する事項についての質問を追加して行います。</p> <p>家庭科の専門領域志願者に対して、出願時に提出したレポートの内容について質疑を追加して行います。</p>
	経営学部	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。
	理工学部	<p>化学・生命系学科 化学 EP 化学応用 EP</p> <p>化学・生命系学科 バイオ EP</p>	<p>複数の面接員による個人面接で、志望動機、もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。</p> <p>複数の面接員による個人面接で、志望動機、自然や生命現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。</p>
帰国生徒・外国学校出身者	教育学部	主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価します。	<p>教員になるための意欲と資質をみるため、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。なお、問題提起、問題把握、問題解決の能力をみるために、学校教育に関する資料や課題を与える場合もあります。</p>
	経済学部	社会科学に関するテーマについての基本的な理解、見解の独創性・論理性、論文の構成力・表現力等をもって評価します。	<p>複数の面接員による個人面接で、外国学校で学んだことや海外体験、そこでの勉強の達成度をどのように自己評価するか、大学で何を学びたいのか、その対象に対する基礎知識と問題解決能力などを評価します。</p> <p>統一試験等成績評価証明書及び出身学校成績証明書の評価も含みます。</p>
	経営学部	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。
社会人	経営学部	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。

VI 私費外国人留学生等の入学者選抜

本学では、私費外国人留学生の入学者選抜をYGEP-N1（渡日入試）、YGEP-N1（渡日前入試）及びYGEP-N2（渡日前入試）として実施します。「YGEP-N1」及び「YGEP-N2」については5ページを参照してください。

なお、詳細については、各学部別に作成される募集要項を参照してください。

（募集要項等の請求方法については、51・52ページを参照してください。）

私費外国人留学生入学者選抜の募集人員

学部名	学科名	募集人員		
		YGEP-N1（渡日入試）	YGEP-N1（渡日前入試）	YGEP-N2（渡日前入試）
経済学部	経済学科	8名 〔通常6名〕 〔GBEEP2名〕	—	—
経営学部	経営学科	8名 〔通常6名〕 〔GBEEP2名〕	—	—
理工学部	機械・材料・海洋系学科	2名		—
	化学・生命系学科	2名	—	—
	数物・電子情報系学科	2名	—	—
都市科学部	都市社会共生学科	2名	—	—
	建築学科	2名		—
	都市基盤学科	3名		5名
	環境リスク共生学科	3名		3名

注：選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

1. YGEP-N1（渡日入試）

(1) 出願要件

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たすもの

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における12年の課程*を修了した者及び平成31年(2019年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 次の資格のいずれかを授与された者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの
 - (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)〔3科目以上合格(評価E以上)していること〕
3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了する見込みの者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの

*外国において学校教育における12年の課程とは地理的、場所的に外国で原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、修了により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(基礎資格2～3のいずれかに該当する者は除く。)については、本規定によって出願が認められない場合があるので早めに照会してください。

【要件】

次の1及び2に該当し、かつ、3にも該当する者

1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、若しくは取得できる者
2. 平成30年(2018年)6月実施又は平成30年(2018年)11月実施の日本留学試験を受験し、かつ各学部で指定する以下の要件(別表)を満たしている者
3. 各学部が指定するTOEFL、TOEIC又はIELTSを受験し、かつ各学部で指定する英語科目への対応等の要件(別表)を満たしている者

注1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この項の選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。

注2 経済学部、経営学部志願者にあつては、出願時に希望する教育プログラム(通常又はGBEEP(5ページ参照))を選択することになります。

注3 理工学部志願者にあつては、出願時に志望する教育プログラムを選択する必要があります。

注4 在留資格「留学」を取得するにあつては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

学部・学科	受験を要する 教科・科目等	日本留学試験							必要 要件	英語科目への対応等		
		出題言語の指定	日本語	物理	化学	生物	総合科目	数学			その他	
		英語	日本語					コース1	コース2	どちらでも可		
経済学部			◎					◎	◎		合計得点が8割以上の者が 出願できる (注) 合計得点には、日本語の「記述」の得点は含まない	平成29年(2017年)1月以降に実施された TOEFL(iBT、PBT)、TOEIC L&R 又は IELTS(Academic Module)を受験していること
経営学部			◎							◎	合計得点が8割以上の者が 出願できる	平成29年(2017年)1月以降に実施された TOEFL、TOEIC 又は IELTS(Academic Module)を受験した者で、次の①～④のいずれかに該当する者が出願できる。 ①TOEFL PBT の得点が450点以上 ②TOEFL iBT の得点が45点以上 ③TOEIC L&R の得点が443点以上 ④ IELTS(Academic Module) のオーバーオール・バンド・スコアが4.0以上
理工学部	機械・材料・海洋系学科	日本語	◎	◎	◎					◎		
	化学・生命系学科	日本語	◎		◎	◎				◎		平成29年(2017年)1月以降に実施された TOEFL(iBT、PBT)、TOEIC L&R 又は IELTS(Academic Module)を受験した者
	数物・電子情報系学科	日本語	◎	◎	◎					◎		
都市科学部	都市社会共生学科		◎					◎		◎		
	建築学科 都市基盤学科	日本語	◎		◎	◎				◎		平成28年(2016年)11月以降に実施された TOEFL iBT、TOEIC L&R 又は IELTS(Academic Module)を受験した者
	環境リスク共生学科	日本語	◎		◎	◎				◎		

注1 日本留学試験については、下記へ問い合わせください。

独立行政法人 日本学生支援機構 (〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL. 03-6407-7457)

注2 YGEP-N1 (渡日前入試) は44～47ページ参照、YGEP-N2 (渡日前入試) は48～49ページ参照

(2) 出願期間

学部名	出願期間	受付方法
経済学部	平成30年(2018年)12月3日(月)～12月7日(金)	窓口受付及び郵送受付
経営学部	平成31年(2019年)1月22日(火)～1月25日(金)	窓口受付及び郵送受付
理工学部	平成31年(2019年)1月21日(月)～1月25日(金)	窓口受付及び郵送受付
都市科学部	平成30年(2018年)11月8日(木)～11月14日(水)	窓口受付及び郵送受付

注1. 募集要項(出願書類を含む。)は、本学ウェブサイト「入試・入学」からダウンロードしてください。

<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html>

注2. 募集要項(出願書類を含む。)の配布時期は、51ページを参照してください。

注3. 窓口受付にて出願する場合は、**志願者本人が直接出願書類を持参**し出願期間内に提出してください。

郵送受付にて出願をする場合は、各学部の出願期間最終日に横浜国立大学必着です。

注4. TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明は出願書類と同時に提出しなければなりません。

なお、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書は受験してから交付まで相当期間を要するので、出願期間に留意のうえ、早めに準備してください。出願期間内に必着です。

注5. 日本留学試験の成績通知書は、平成30年(2018年)6月実施分か平成30年(2018年)11月実施分のいずれか一方の成績通知書を提出してください。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、個別学力検査等(個別学力検査・面接・小論文)、日本留学試験及び成績証明書によって行います。なお、各学部の選抜方法は以下のとおりです。

学部名	事項	大学入試センター試験	個別学力検査等の試験科目等(個別学力検査・面接・小論文)	日本留学試験	試験日	
経済学部	課さない		面接 (2段階選抜を実施)	重視する	平成31年(2019年)2月25日(月)	
経営学部			小論文及び面接	重視する	平成31年(2019年)2月26日(火)	
理工学部			数学及び面接 数学は14ページを参照	重視する	平成31年(2019年) 2月25日(月)～26日(火)	
都市科学部			都市社会共生学科	面接	重視する	平成30年(2018年) 12月27日(木)
			建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	数学及び面接	重視する	平成30年(2018年) 12月26日(水)～27日(木)

注1. 経済学部は、日本留学試験およびTOEFL、TOEIC又はIELTSの成績により、第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、集団面接を行います。

注2. 経営学部については、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績を重視します。

注3. 理工学部については、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績を重視します。

注4. 都市科学部については、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績を重視します。

(4) 合格者発表日

学部名	合格者発表日
経済学部	第1段階選抜：平成31年(2019年)2月8日(金) 第2段階選抜：平成31年(2019年)3月7日(木)
経営学部	平成31年(2019年)3月7日(木)
理工学部	平成31年(2019年)3月7日(木)
都市科学部	平成31年(2019年)1月18日(金)

(5) 志望学部の問い合わせ先

学部	担当係	〒	住所	電話番号
経済学部	社会科学系経済学務係	240-	横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3	045-339-3508, 3509
経営学部	社会科学系経営学務係	8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4	045-339-3663, 3664
理工学部	理工学部入試係		横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-3821
都市科学部	都市科学部学務係		横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6	045-339-3124, 4463

2. YGEP-N1 (渡日前入試)

(1) 理工学部

実施学部等 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 (材料工学教育プログラム、海洋空間のシステムデザイン教育プログラム)
募集人員	機械・材料・海洋系学科で行うYGEP-N1 (渡日入試) と合わせて 2名
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年(2019年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格) [3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成31年(2019年)3月31日までに修了する見込みの者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 平成29年(2017年)11月実施又は平成30年(2018年)6月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、以下の要件を満たし、かつ試験の合計得点が8割(850点満点中680点)以上である者(合計得点は「日本語」の「記述」を含めた点数) 出題言語：日本語 受験科目：日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学 3. 平成28年(2016年)9月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 ①TOEFL(iBT, PBT)、②TOEIC L&R、③IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。 2. 志願者は出願時に志望する教育プログラムを選択する必要があります。
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験(募集要項参照)の成績、所定の英語能力を有することを証明する成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行います。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>※インターネット面接はGoogle HangoutsやSkype等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。志望動機に関する質疑の他、数学・理科に関する基礎的な学力を問う場合があります。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	平成30年(2018年)9月3日(月)～平成30年(2018年)9月12日(水)【郵送、必着】
選抜期日	平成30年(2018年)10月11日(木)
合格者発表日	平成30年(2018年)10月30日(火)
その他	<p>この入試に関する募集要項は、平成30年(2018年)7月下旬頃に本学ホームページ等を通じて発表します。募集要項(出願書類を含む。)を以下のURLからダウンロードして出願してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学理工学部入試係 TEL. +81-45-339-3821, FAX. +81-45-339-3820 E-mail: ses.nyushi@ynu.ac.jp http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html</p>

実施学部等 学 科 名	都市科学部 都市基盤学科
募集人員	都市基盤学科で行うYGE P-N 1（渡日入試）と合わせて 3名
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの （1）スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 （2）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 （3）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 （4）グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル資格）[3科目以上合格（評価E以上）していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了する見込みの者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 平成30年（2018年）6月実施又は平成30年（2018年）11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者</p> <p>出題言語：日本語 受験科目：日本語、数学（コース2）、理科 必修 物理 選択 化学又は生物から1科目</p> <p>3. 平成28年（2016年）11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 ①TOEFL iBT、②TOEIC L&R、③IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者</p> <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)の成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>※インターネット面接はインターネットのGoogle Hangouts や Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出 願 期 間	平成30年(2018年)11月 8日（木）～平成30年(2018年)11月14日（水）【郵送、必着】
選 抜 期 日	平成30年(2018年)12月17日（月）～平成30年(2018年)12月27日（木）
合 格 者 発 表 日	平成31年(2019年) 1月18日（金）
そ の 他	<p>この入試に関する募集要項は、平成30年(2018年)8月上旬頃に本学ホームページ等を通じて発表します。募集要項（出願書類を含む。）を以下のURLからダウンロードして出願してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL. +81-45-339-3124、4463 E-mail : cus.jimu@ynu.ac.jp http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html</p>

実施学 部等	都市科学部 環境リスク共生学科
募集人員	環境リスク共生学科で行うYGE P-N1（渡日入試）と合わせて 3名
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル資格）〔3科目以上合格（評価E以上）していること〕 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了する見込みの者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 平成30年（2018年）6月実施又は平成30年（2018年）11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 <p style="margin-left: 40px;">出題言語：日本語 受験科目：日本語、数学（コース2）、理科 選択 物理、化学、生物から2科目</p> 3. 平成28年（2016年）11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 ①TOEFL iBT、②TOEIC L&R、③IELTS (Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS (Academic Module)の成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>※インターネット面接はインターネットのGoogle HangoutsやSkype等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	平成30年（2018年）11月 8日（木）～平成30年（2018年）11月14日（水）【郵送、必着】
選抜期日	平成30年（2018年）12月17日（月）～平成30年（2018年）12月27日（木）
合格者発表日	平成31年（2019年） 1月18日（金）
その他	<p>この入試に関する募集要項は、平成30年（2018年）8月上旬頃に本学ホームページ等を通じて発表します。募集要項（出願書類を含む。）を以下のURLからダウンロードして出願してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL. +81-45-339-3124、4463 E-mail : cus.jimu@ynu.ac.jp http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html</p>

実施学 部等	都市科学部 環境リスク共生学科
募集人員	3名
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年(2019年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格) [3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成31年(2019年)3月31日までに修了する見込みの者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 平成30年(2018年)6月実施又は平成30年(2018年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 <p style="margin-left: 40px;">出題言語：日本語 受験科目：日本語、数学(コース2)、理科 選択 物理、化学、生物から2科目</p> 3. 平成28年(2016年)11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 ①TOEFL iBT、②TOEIC L&R、③IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)の成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>※インターネット面接はインターネットのGoogle HangoutsやSkype等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	平成30年(2018年)11月8日(木)～平成30年(2018年)11月14日(水)【郵送、必着】
選抜期日	平成30年(2018年)12月17日(月)～平成30年(2018年)12月27日(木)
合格者発表日	平成31年(2019年)1月18日(金)
その他	<p>この入試に関する募集要項は、平成30年(2018年)8月上旬頃に本学ホームページ等を通じて発表します。募集要項(出願書類を含む。)を以下のURLからダウンロードして出願してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 横浜国立大学都市科学部学務係 TEL. +81-45-339-3124、4463 E-mail: cus.jimu@ynu.ac.jp http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html</p>

4. YCCS特別プログラム入試（平成31年10月入学）

英語による授業のみを履修して学士の学位を取得できる4年間のプログラムです。

実施学部 学 科 名	YOKOHAMA クリエイティブ・シティ・スタディーズ特別プログラム (全学部共同運営・都市科学部都市社会共生学科)
アドミッション・ポリシー	YOKOHAMA クリエイティブ・シティ・スタディーズ特別プログラムは、英語による教育で学位が取得できる教育プログラムです。本プログラムでは、一定以上英語能力があり、ダイバーシティの高い新しい「都市学」を切り開くパイオニア精神に溢れる者を、世界中の国・地域から広く募集します。学生は、様々なバックグラウンドを持つ留学生・日本人学生からなる多文化的集団の中で、異文化理解能力とコミュニケーション能力を涵養し、実践的な ICT スキルズやプレゼンテーションスキルズを得るとともに、「都市文化共創 Urban Cultural Creation」「都市社会マネジメント Urban Social Management」「都市創成技術 Urban Creative Technologies」3つの重点領域から専門性を身につけ、世界をフィールドとして活躍できる先駆的若手リーダーやファシリテーターとなることが期待されます。
募集人員	12名
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ要件を満たす者 【基礎資格】 次の1から3のいずれかに該当する者 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）9月30日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）、GCE A レベル資格（英国）[3科目以上合格（評価 E 以上）していること]のいずれかを有する者又は平成31年（2019年）9月30日までにいずれかを有する見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 3. 文部科学省が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は平成31年（2019年）9月30日までに修了する見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 【要件】 次の1から3のすべてに該当する者 1. ①～⑦のいずれかの証明書を提出できる者 ①TOEFL iBT 80 以上 ②IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア：6.0 以上 ③国際バカロレア（English A の場合、HL:3 又は SL:4 以上、English B 場合、HL:4 又は SL:5 以上） ④Malaysian University English Test (MUET) バンド3 以上 ⑤中国全国公共英語等級考試：Public English Test System 5 級(PETS5) ⑥英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上又は通算6年以上在籍したこと ⑦上記と同等以上の英語能力を有することを証明する書類 2. 中等教育を修了するまでに7年以上外国の教育制度に基づいて日本国外で教育を受けた者（高校卒業見込みの者の場合、高等学校の最終学年の年数を含めてもよい。） 3. 出入国管理及び難民認定法の適用を受ける者は、大学入学に支障のない在留資格を有すること 注「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（【基礎資格】2 または 3 を満たす者は除く）については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。 外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
選 抜 方 法	入学者の選抜は、入学願書、高校等の成績証明書（国家試験等の統一試験を含む）、英語能力を有することを証明する成績証明書、ビデオレター及び推薦書の内容等を総合的に評価して行います。また、学力確認のために追加の課題あるいは面接を課す場合があります。 面接は、インターネットの Google Hangouts や、Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できるようにしてください。面接時間は接続確認等の時間を除いて30分程度で、英語により行います。
出 願 期 間	平成30年（2018年）12月上旬～平成31年（2019年）1月下旬【E-mail または郵送、必着】
選 抜 期 日	平成31年（2019年） 2月中旬～3月中旬
合 格 者 発 表 日	平成31年（2019年） 3月下旬
そ の 他	この入試に関する募集要項は、平成30年（2018年）10月中旬頃にプログラムのウェブサイト等を通じて発表します。 問い合わせ等連絡先〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8 横浜国立大学「YCCS 特別プログラム」担当係 E-mail : yccs-admission@ynu.ac.jp Website : http://www.yccs.ynu.ac.jp